

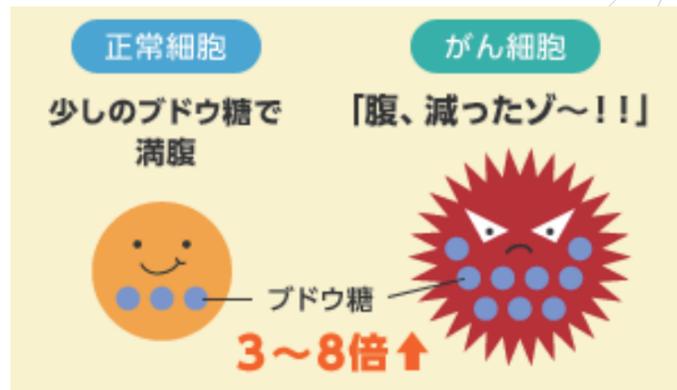
健診センター PET/CT 単独検診のご案内



PET/CTは、PET(Positron Emission Tomography: 陽電子断層撮影法)と、CT(Computed Tomography: コンピュータ断層撮影法)を同時撮影し融合させる画像検査です。

検査料金: 90,720円(税込み)

多くのがん細胞は、正常細胞より増殖能力が高く、3~8倍のブドウ糖を細胞内に取り込みます。その集積分布を検査薬で画像化したものがPETで、CTと合わせてがん等の発見を行います。異常な集積は炎症など、がん細胞以外の病変でもおこるため、異常が判明した場合は、更に他の検査を行い、がんかどうか確定診断されます。撮影前の血糖値が200mg/dl以上では検査できないことがありますのでご注意ください。検査時間は2~3時間です。



◆医療施設からの紹介予約・お問合せ: 地域医療連携室 ☎ 026-226-3687

Information - 開催予定研修会 -

抗がん剤治療における制吐剤について

日時: 9月22日(金)18:30~20:00
会場: 長野赤十字病院 第一研修ホール
主催: 小野薬品工業株式会社

改訂胃癌治療ガイドライン解説および佐久医療センターのチーム医療

日時: 10月18日(水)18:50~20:00
会場: 長野赤十字病院 第一研修ホール
長野赤十字病院・中外製薬株式会社 共催

発行: 長野赤十字病院
がん治療センター・がんサポートセンター
事務局 がん診療連携課
(地域がん診療連携拠点病院事務局)

TEL 026-226-4131 FAX 026-226-6114
E-mail ganshinryo@nagano-med.jrc.or.jp
WEB http://www.nagano-med.jrc.or.jp



長野赤十字病院

発行 長野赤十字病院 がん診療連携課

がん治療センターだより 第6号

2017.09.19

当院は、地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院として、地域の医療関係機関と連携をとりながら、診療体制をより良いものにするため日々努力しています。『がん治療センターだより』は、がん診療に関する情報を発信し、当院をより身近に感じていただくため隔月で発行します。

さて、第6号は、遅くなりましたが『がん治療センター』のご紹介、スタッフ紹介も含めた『PET/CT』施設のご紹介と健診センターからのご案内です。

長野赤十字病院 がん治療センターより

院長補佐兼外科部長兼がん治療センター長 袖山 治嗣

皆さんもよくご存じのとおり、昭和56年以降ずっと、日本人の死亡原因の第1位はがん(悪性新生物)です。人口の高齢化に伴いがん患者さんは年々増加しており、平成27年には37万346人ががんで亡くなり、平成28年には1年間で101万200人の方ががんに罹患されたと推計されています。日本人の二人に一人は生涯のうちにがんに罹り、三人に一人ががんで死亡すると考えられ、がんは誰もが経験する可能性のある、命を脅かす重要な疾患です。

がんに対しては、手術療法、化学療法、放射線療法、免疫療法、骨髄移植、緩和ケア、ペインクリニックなど様々な治療法があり、これらの治療法を組み合わせた集学的治療により高い治療効果を得ることができます。最善の治療を提供するため当院には内科、外科、放射線科、緩和ケア、病理などの専門医が集まり各がん患者さんの治療方針などを検討するカンサーボードが13あり、毎週定期的に開催されています。

また、中央手術室、高精度放射線治療センター、外来化学療法室、緩和ケアチーム、がん相談支援センターをがん診療の主要5部門と位置づけ、「がん治療センター」および「がん診療運営委員会」が統括しています。

長野赤十字病院は、平成19年に「地域がん診療連携拠点病院」の指定を受けました。その後、平成21年に南新棟「がん治療センター」が完成し、ライナックを更新。平成23年、内視鏡センターの開設、マンモグラフィーの更新。平成25年、中央手術室の改修、PET/CTの導入、手術支援ロボット「ダヴィンチ」の導入。平成26年、腫瘍内科部の新設、バーチャルスライドの導入。平成27年、がん診療連携課の新設、がん相談支援センター、からだの図書館、サロン陽だまり、緩和ケア外来などを集約した「がんサポートセンター」の新規開設。平成28年には、SPECT/CTの導入、2台目のライナックを増設して「高精度放射線治療センター」の開設など、最先端のがん診療を提供するため医療機器や施設、診療体制の充実を図っています。

がん診療の充実に病院一丸となって取り組んでいます長野赤十字病院をどうぞ宜しくお願いいたします。

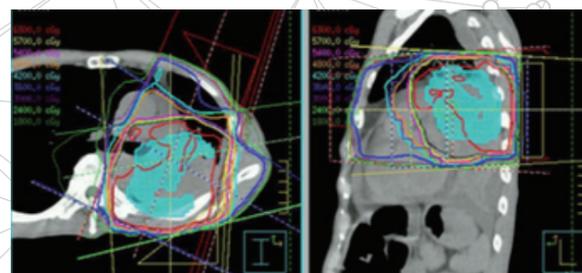


PET/CT 施設のご紹介 放射線診断科部長 丸山 篤敬

1. 当院の PET/CT 装置



当院の装置はフィリップス社製の GEMINI TF Big Bore です。この装置は Time of Flight という最先端技術を用いており、ノイズの少ない良質な画像が得られます。検出しにくい微小な病変も検出できます。また、がんの診断目的だけでなく、放射線治療計画にも利用するため、装置のトンネル部分が通常の装置より大口径です。このため、被検者にとっては圧迫感の少ない装置となっています。



PET 画像から放射線治療計画を作成（肺癌症例）
青色部分が PET の集積部位



問診室

処置室（注射を行う）

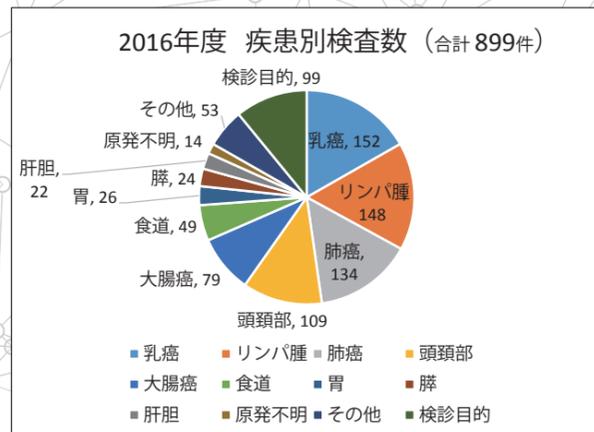
2. PET 検査薬の供給



検査薬 (FDG) は薬品メーカーから供給されています。以前は東京都江東区にある PET ラボから輸送されていましたが、現在は群馬県藤岡市から輸送され、1日 2~3 回、安定して供給されるようになりました。

3. 検査実績

2016 年度の検査件数は 899 件です。疾患別件数をグラフで示します。乳癌、悪性リンパ腫、肺癌、頭頸部腫瘍、大腸癌の順となっています。FDG-PET はおもに悪性腫瘍を対象とした検査ですが、心サルコイドーシスの 1 症例に対して検査を施行しています。また、院外から 21 件の検査依頼をいただきました。



4. スタッフ

放射線診断科医師

常勤 5 名で 4 名が放射線診断専門医および PET 核医学認定医です。そのうち 1 名は核医学専門医です。

PET/CT の読影はダブルチェックで行っています。医学放射線学会の修練機関、核医学会の専門医教育病院に認定されています。



診療放射線技師

PET/CT 検査と SPECT/CT 検査を 2 名で行っています。PET/CT 検査のできる技師は現在 6 名おり、交代で検査を行っています。PET 専門認定技師が 2 名います。



看護部門

放射線科の看護師 4 名が交代で検査を担当しています。放射線外来、放射線治療との兼務ですが、PET 検査の問診、血糖測定、注射

などを行っています。検査や病気への不安を訴える方もおり、丁寧な対応を心がけています。



事務部門

放射線外来の事務 3 名が対応しています。PET 検査の前日、検査予定者に検査の注意事項などを電話で再確認し、検査がスムーズに行えるように努めています。

他施設からの PET、CT、MRI、RI 検査の予約業務も行っていましたが、9月19日(火)からは地域医療連携室での予約となります。



5. 検査依頼方法

FAX での予約となります。(専用の用紙がありますのでご利用ください。)

詳しくは地域医療連携室にお問い合わせください。

地域医療連携室

直通電話 : 026-226-3687
直通 FAX : 026-224-1057